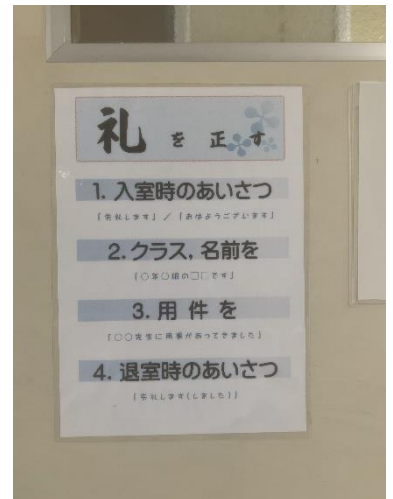


## 人間（じんかん）における「礼を正す」

17 日間の夏休みが終わりました。夏休みの課題の他、3 年生は補習に、1，2 年生は部活動などにと、それぞれ充実した期間だったことと思います。例年と違い、外出を控えたことでリフレッシュやリラックスなどの時間もある程度確保できたのではないのでしょうか。先日のニュースで、松江市内の高校サッカー部を中心とした新型コロナウイルスの集団感染は衝撃的でした。短期間にウイルスが学生寮で蔓延し、一度に 100 人もの感染者が出るという、感染力の強さに驚かされました。我々は、これを他人事（ひとごと）とせず、自分のこととして感染拡大防止対策を再確認する必要があると思っています。

大東高校では 8 年前から、校内数カ所に「時を守り、場を清め、礼を正す」ということばを書いた紙が貼ってあります。すでにホームページの「校長だより」で紹介していますのでここでは詳しくは述べませんが、これは「時間、空間、人間（じんかん）」という 3 つの”間（かん）”に関する行動の規範を示しているものです。特に人間（じんかん）についての「礼を正す」は、本校でも、あいさつや礼儀作法の指導として職員室や保健室などの入り口に貼ってあります。新型コロナウイルス感染拡大の今、この人間（じんかん）についての「礼を正す」は、まさに“人と人との間の距離を正しくとる”という新しい意味が加わっていると思っています。これまで、相手との距離感を間違えた言動をすると失礼にあたり、コミュニケーションに支障をきたすことがありました。しかし今、感染拡大防止の観点から、相手と一定の距離をとることはお互いを思いやることにつながります。是非とも、マスク着用に加え、相手と一定の距離をとるといった「礼を正す」を実践してください。



さて、学園祭のテーマは「彩（カラフル）～織部の地に咲かせよう希望の華～」です。今年の学園祭はコロナ感染拡大防止のためにいくらか制約のあるものになるかと思います。そのため、企画や準備に工夫をする必要があります。皆さんが出し合った個性豊かなアイデアが”彩（カラフル）”であり、積極的に困難を克服しようとすることやそれを楽しむくらいの逞しさが”希望の華”であると私は思っています。また多くの人が関わる学園祭では、お互いの協力が必要不可欠です。皆が一つの目的のために協力し合っている姿も”希望の華”だと思っていますので、是非、その華を織部の地に咲かせてください、楽しみにしています。

2 学期は期間が長く多くの行事がある学期です。学校としては、コロナの感染状況や熱中症などの予防策について、臨機応変に対応しながらこれらの行事を行っていきます。当面の目標は万全を期した学園祭の実施です。皆さんにとって思い出深い学園祭とするために、引き続きコロナ感染拡大防止や熱中症予防などの対策について協力をお願いし、2 学期始業式にあたり、私からの話とします。